

Saisei Rimin

No. 9
平成28年11月

入院申し込み、入院当日の手続きは
あったかサポートセンター内の入院センターにお越しください。

大腸がんの治療と腹腔鏡手術

当院では、大腸がんの手術は患者さんの身体に負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に行っています。広範囲のリンパ節を切除する場合は、術前に3次元CTで腫瘍、血管、リンパ節などの関係をシミュレーションして、安全に手術を行える様にしています。

腎臓内科と腎臓・透析センター新設

「慢性じん臓病」は心臓・脳などにも悪影響を及ぼす「国民病」です。「血尿・たんぱく尿」「じん臓の働きが低い」などがご心配な方。かかりつけ医からのご紹介状をお持ちください。詳しく調べさせていただきます。

入院センターを開設しました

入院患者様の不安や疑問を解消し、入院から退院まで安心して治療をして頂けるよう医療チームで対応しています。

Index

医療の最前線	2
診療科案内	
腎臓内科	4
耳鼻咽喉・頭頸部外科	5
入院センター設置	6
七タコンサート開催	7
第17回あわぎフォーラム開催	8
ニッセイ健康セミナー開催	9
お薬ピックアップ	9
ナースの奮闘記	10
栄養管理室通信	10
開放型病院登録医紹介	11
あったかサポートセンターからのお知らせ	12

医療の最前線

大腸がんの腹腔鏡手術

日生病院 消化器・一般外科において行われている、大腸がんに対する治療法をご紹介します。



日生病院
消化器・一般外科部長
みずの ひとし
水野 均

① 大腸がんとは

我が国の大腸がんの罹患率は、一九九〇年代前半までは増加していましたが、それ以降はほぼ横ばいとなっており、男性では胃がん、女性では乳癌に次いでそれぞれ二番目に多いがんとなっています。大腸がんの生存率は比較的高く、亡くなる患者さんの割合（死亡率）は最近では少しずつ減る傾向にあります。男性では肺癌、胃がんに次いで三番目、女性では一番目、全体では二番目に亡くなる方が多いがんです。

図1

② 大腸がんの治療

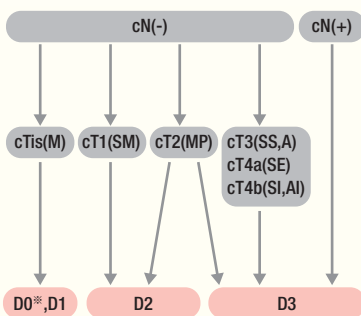
大腸がんの治療には、内視鏡治療、手術、薬物療法、放射線治療などがあり、病期や患者さんの全身状態、合併症などを考慮して決定されます。一般的には遠隔転移を伴わないステージ0～Ⅲの患者さんには、内視鏡治療や手術という、がんを切除する治療法が第一に選択されます。ステージ0、Ⅰのうち内視鏡で切除できないものや、やや進行したステージⅡ、領域リンパ節に転移のあるステージⅢの患者さんが手術の対象となります。

図2

③ 大腸がんの手術

大腸がんの手術では、原発巣というがんそのものだけを切除するのではなく、がんが転移している可能性のある領域リンパ節も含めて切除する必要があります。領域リンパ節は、がんの部位によって決められており、がんに近いところから順に

図2

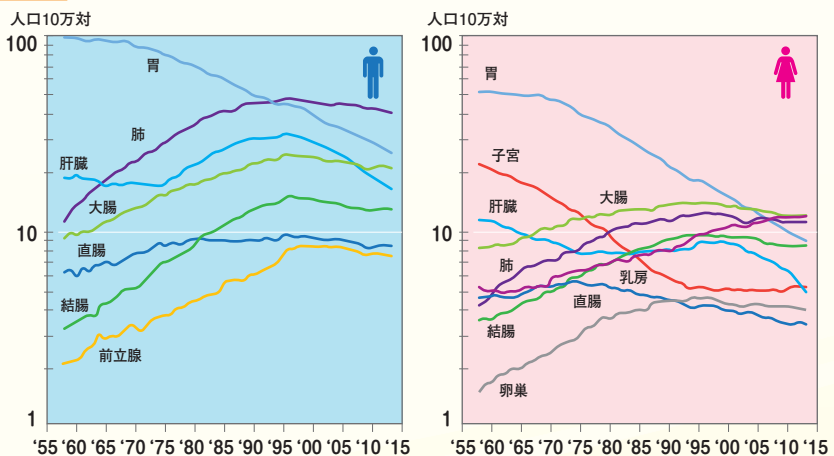


※直腸癌では直腸局所切除を含む。

大腸癌研究会編 大腸癌治療ガイドライン
医師用2014年版(金原出版)より

ステージ0～Ⅲ大腸がんの手術治療方針

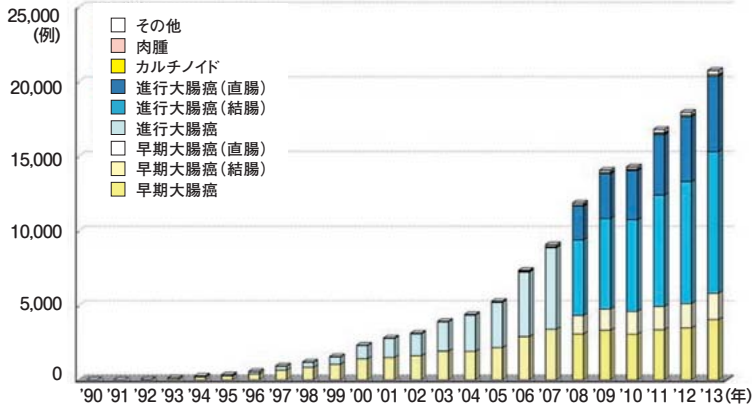
図1



がんの部位別年齢調整死亡率年次推移(1958～2013年)

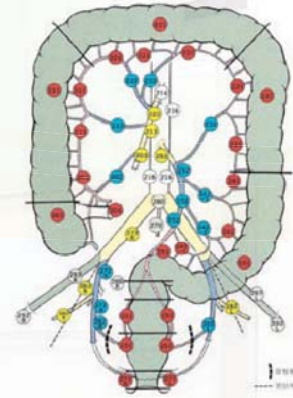
資料:国立がん研究センターがん対策情報センター

図4



大腸、小腸疾患の腹腔鏡手術件数
(日本内視鏡外科学会 第12回アンケート調査報告より)

図3



大腸癌研究会編 大腸癌取り扱い規約第8版(金原出版)より

大腸がんのリンパ節分類

1群、2群、3群リンパ節と分けられています。図3 ステージⅠの患者さんの手術では2群リンパ節まで切除すれば充分とされていますが、それ以上になると3群リンパ節まで切除する必要があります。

手術には開腹手術と腹腔鏡手術があります。腹腔鏡手術は、開腹手術に比べて患者さんの身体に負担が少なく、在院期間が短くなる等の利点があります。一方、3群リンパ節まで切除する手術は難度が高く、それぞれの手術チームの習熟度に合わせて適応を決定すべきとされていますが、最近では手術手技や器具の発達により、大腸がんの腹腔鏡手術の件数は年々増加しています。図4

④ 大腸がんに対する腹腔鏡手術の実際

腹腔鏡手術では腹腔内の臓器を直接触れることができないため、術前に3次元CTで腫瘍の位置や血管の走行、リンパ節の切除範囲などを十分にシミュレーションして、安全に手術が行えるようにしています。図5

実際には、まず患者さんの腹部を炭酸ガスで膨らませて、臍部に開けた1.5cm程度の穴からスコープを挿入し、そのほかに5mm～1.5cm程度の穴を4カ所開けて、腹腔内でリンパ節の切除や、腸管の切除、吻合などを行います。図6⑦ 切除した腸管は2カ所の穴を4cm程度に拡げて取り出します。

がんの状態や、患者さんの状況によつては、穴の数を減らしたり、一カ所だけで行う場合もあります。図8 一部の施設ではロボットを用いた手術も行われていますが、現在のところ、保険適応にはなっていない。

消化器一般外科には、日本内視鏡外科学会の技術認定取得医が在籍しており、それぞれの患者さんの身体に負担が少なく、安全かつ質の高い手術が行えるように、手術チーム全体で努力をしています。

図8



単孔式結腸切除術後の創部

図6



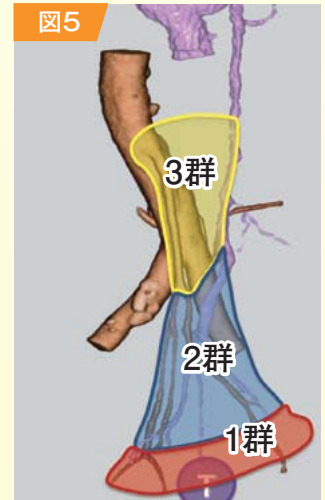
腹腔鏡手術のリンパ節郭清

図7



腹腔鏡手術の腸管吻合

図5



3次元CTによるシミュレーション

最新情報をご案内します

診療科案内

腎臓内科

部長兼腎臓・透析センター長
うづ たかし
：宇津 貴



成人の8人に1人が慢性腎臓病であり、腎臓病は日常診療で頻繁に遭遇する疾患です。ありふれた疾患ですが、放っておくと末期腎不全（透析）へ進行するだけではなく、脳血管障害・心不全・冠動脈疾患などさまざまな疾患の誘因となるため、適切な時期に適切な介入をする必要があります。

生まれたばかりの当院腎臓内科ですが、これから皆様に育てていただき、「連携によるセーフティネットで腎臓をまもる」ことを目指します。

なお、よくいただくご質問を、Q&A形式で記載しました。御参考いただければ幸いです。



Q1 腎臓に注意!どんな人?

A

検診で血尿やタンパク尿が出たり、高血圧、糖尿病の方は要注意です。心配な方はかかりつけの医療機関でチェックを受けてください。

Q2 腎臓内科では何をしてもらえるのですか?

A

的確な診断、早期からの治療、腎臓の状態に合わせた生活習慣病や薬剤調整などで腎臓を守ること、的確な時期に腎代替療法（血液透析、腹膜透析療法など）への導入を行うことで命を守ることが我々の務めです。患者さん個々の状況に応じた治療法の提案をいたしますので、かかりつけ医療機関からの紹介状（これまでの治療や検査結果等）を持って、受診してください。

Q3 日生病院腎臓内科の特徴は?

A

当科の担当部長は、腎臓専門医だけではなく糖尿病専門医の資格も有しています。糖尿病性腎症の早期から晩期まで適切に対応いたします。

何かご不明の点があればいつでもお問い合わせください。



耳鼻咽喉・ 頭頸部外科

主任部長：藤田 信哉

部長代行：赤羽 誉

外来診療は、基本的には予約制をとっており予約患者さんを優先としています。近隣医療機関からの初診予約が可能ですのでぜひご利用ください。したがって、予約のない方（紹介状をお持ちの方でも）は待ち時間が長くなりますのでご了承下さい。

患者様にはデジタル情報を駆使した分かり易い説明とエビデンスに基づいた確かな治療を心がけています。早く確実に治すことを目標に、外科的治療に重点を置きながら、診断から治療までを一貫して行うことを基本理念としています。

セカンドオピニオンなど他の医療機関への受診を希望されれば診療情報を提供いたします。

◆診療内容について

一言で申しますと当科は悪性腫瘍からめまい・難聴までのすべての疾患に対応している大阪市西部地区で唯一の地域医療病院と考えています。とくに以下の様な基本3領域に重点を置き日々の診療にあたっています。

◇頭頸部外科:手術療法のほか、化学療法・放射線療法を併用した集学的治療

◇神経耳科:めまい・難聴の診断・治療、中耳難聴に対する手術治療

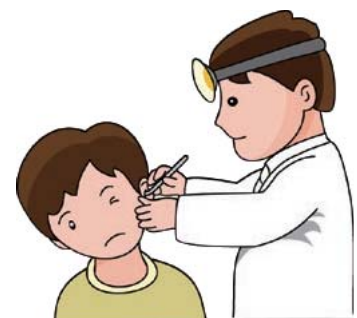
◇副鼻腔外科:内視鏡を用いた鼻・副鼻腔領域の形態的・機能的改善手術

さらに奈良県立医科大学病院、大阪府立成人病センター等と病病連携を行っており、患者様のニーズや特殊疾患に合わせて対応しています。



◆担当医師について

常勤医4名で診療を行っています。頭頸部がん指導医・専門医、がん治療認定医、めまい専門医などの資格を持つ耳鼻咽喉科認定専門医が毎日診察にあたっています。手術日は火曜日です。そのほかの月、水、木、金曜日は初診、再診ともに診療を行っています。専門外来は、腫瘍、めまい、補聴器の外来をそれぞれ午後に行っています。



済生利民

入院センターを開設いたしました。

入院センターの役割

- 1 入院決定時から各職種が連携して患者さんの不安に対応し、安心して入院生活を送っていただけるよう支援する。
- 2 入院時から介入することにより退院後の生活をふまえた退院支援が早期から実践でき、地域住民の信頼に応える医療サービスを提供する。

患者さん、ご家族にとって、「入院」は一大事です。

病気そのものからくる身体の辛さだけでなく、治療への不安や緊張、生活や経済的にも心配なことがたくさんあると思います。そのような状況の患者さん、ご家族を私たちは医療の専門家として支えたいと考えています。そこで、患者さんの入院前から退院に向けて、安心して入院生活を送っていただけるように、**複数の職種からなる入院センター**を開設いたしました。

お一人おひとりの入院目的に合わせて、

入院に必要な書類や
準備していただくこと

入院後の生活について

お薬について

入院費用について

不安がないかなどゆっくりお話を伺い、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務職員が連携して説明します。入院中のことだけでなく、病棟看護師と退院調整看護師や医療ソーシャルワーカーが連携をとり、退院後の生活についても困られることがないように調整します。



入院センターのスタッフ間の連携はもとより患者さん、ご家族、地域とのつながりをより緊密にすることで、より良い医療の提供に努めてまいります。どうぞ、病気、入院に関する不安など遠慮なくご相談ください。





ニッセイあったか

“七夕”コンサート



平成28年

7月8日 金

16:00~16:45

会場
1階 外来ホール

日生病院では「アートと医療の融合」に取り組んでいます。アートは心と身体の癒し。患者様にホスピタリティーを提供する病院として、「夏の誘い」ニッセイあったか“七夕”コンサートを開催しました。

当日は、患者様やご家族、地域の方々約140名程に参加いただきました。職員手作りのコンサートですが、コーラス隊と一緒に歌ったり、楽器演奏を楽しんでいただいたり大いに喜んでいただきました。また、6月中旬からリハビリテーション室、あったかサポートセンター、小児科にも飾り付けを実施し、短冊には多くの願いごとが寄せられました。



★プログラム

- ハンドベル
きらきら星/
少年時代 (井上陽水)
- コーラス曲 (ピアノ伴奏)
ブリーブ/花は咲く/
花/365日の紙ひこうき
- フルート&ピアノによる二重奏
歌劇カルメンより/お楽しみ
- ピアノ&チェロによる二重奏
川の流れるように/イバネマの娘
- ピアノに合わせてみんなで合唱
たなばた/
見上げてごらん夜の星を

第17回 あわざフォーラム を開催しました。

～病診連携学術講演会～

共催：公益財団法人 日本生命済生会付属 日生病院、
日本生命保険相互会社

日時

平成28年7月23日(土)
15時00分～17時00分

会場

日本生命本店 東館(淀屋橋)
〒541-8501
大阪市中央区今橋3-5-12

総合司会 日生病院 副院長 立花 功

I.

開会挨拶 日生病院 院長 笠山 宗正

II.

日生病院における診療のご紹介 日生病院 あったかサポートセンター長 船渡 孝郎

III.

講演

座長 日生病院 副院長 藤田 征巳

講演 1

「呼吸器外科診療と胸腔鏡手術の実際」

日生病院 特任副院長兼呼吸器外科部長 前田 元

講演 2

「進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術」

日生病院 消化器・一般外科部長 水野 均



IV.

特別講演

座長 日生病院 院長 笠山 宗正

講演 1

『Futurity ～医療の今と未来～』

大阪大学大学院医学系研究科 研究科長・医学部長・心臓血管外科教授
澤 芳樹 先生



V.

情報交換会 (17:15～)



平成28年度 第1回

＜多数のご参加ありがとうございました！＞

開催
しました

ニッセイ市民健康セミナー

「糖尿病と腎臓病、透析治療について」

日 時 平成28年6月11日(土) 14:00~16:00

会 場 日生病院 別館講堂

参 加 参加費無料 予約不要

開会挨拶 院 長 笠山 宗正

司 会 糖尿病・内分泌センター部長 住谷 哲

第1部

14:00~14:50

① 糖尿病腎症と透析治療について

泌尿器科部長 福井 辰成

② 透析治療とならないために今すべきこと

糖尿病・内分泌センター 角南 ちえ子

(糖尿病看護認定看護師)

第2部

15:00~16:00

アマチュア落語

桂文喬主催落語研究会



お薬トピックス

子供の誤飲

子供によるお薬の誤飲事故が急増しているとニュースになっていますが、みなさんご存じでしょうか。

5歳以下の子供の誤飲事故は、年間約8500件と報告されており、その7割が1〜2歳の子供による事故です。自分でも口にいれるようになる生後6〜9か月の子供より事故数は急上昇します。

近年、医療用医薬品も飲みやすい形状のお薬の開発が進んでいますので、特に甘いにおいや味のついた口腔内崩壊錠(OD錠)やシロップ等は子供にとつておいしいものと認識され、事故をおこすケースが増えているようです。子供は好奇心旺盛なので、まさか届かないだろうと思われていた薬も、足場を使つてとりだし誤飲した例が報告されています。

ご自宅のお薬の保管場所について、再度確認していただければと思います。

もしも事故が起ってしまった場合は、落ち着いて、飲んだお薬の名前と摂取量、誤飲事故の発生状況を正しく伝えることが重要です。すぐに専門の相談機関へ連絡し、または必要に応じて医療機関へ受診するようにしてください。

主な相談機関

▶小児救急電話相談

休日、夜間の子どもの急な病気への適切な対処の仕方や、受診する病院等について、小児科医師や看護師のアドバイスを受けることができます。(通話料は相談者負担)



#8000

厚生労働省ウェブサイト有

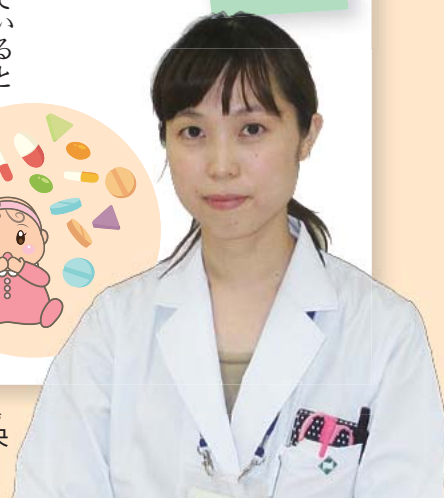
▶公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

医薬品、化学物質(たばこ等)、動植物の毒などによる中毒事故への対処について、薬剤師等のアドバイスを受けることができます。

大 阪: 072-727-2499 (24時間対応)

つくば: 029-852-9999 (9~21時対応)

日本中毒情報ウェブサイト有



ナースの奮闘記

患者様に良く なつてもらいたい

私の勤める4階東病棟では、総合内科、耳鼻咽喉・頭頸部外科の方が多く入院されています。治療目的は教育入院・化学療法・手術などさまざまです。そのため幅広い知識が必要となり大変なことも多いですが、患者様の思いに寄り添えるような看護を心がけています。

患者様を知るには、その方の病気についての理解はもちろんですが、患者様がどのような思いを抱えているのか知ることが必要です。看護師は病気を告知され不安を持ちながら入院されています。看護師は病気を治す手助けをするだけではなく、心のサポートが大切になると考えています。短期間の入院ですべてを知ることには難しいですが、患者様一人ひとりと向き合い患者様にとって、「ここで入院できて良かった」と思ってもらえるように努めています。

看護をする上では看護師一人では出来ません。リオオリンピックの4×100mリレーで銀メダルを獲得出来たように、病院に携わる医療従事者の力を合わせることで、よりよい医療を提供することが出来ると思います。患者様に良くなつてもらいたいという一心で、これからも看護に取り組んでいきます。



すえいし しようこ
4階東病棟：居石 尚子

栄養管理室通信

果物アレルギーとは？

管理栄養士 糖尿病療養指導士：出口 暁子



食品によるアレルギーが増えています。果物を食べたあと、5分以内に口の中のかゆみや腫れなどの症状が出るアレルギーです。「口腔アレルギー症候群（OAS）」とも呼ばれ、最近では若い人の発症も増えており、食べ合わせにより重症化するケースもあるため注意が必要です。

花粉症の患者様ほど発症しやすく、果物や野菜にも花粉症をひきおこすアレルゲンと似た構造のタンパク質を含むものがあるためと考えられています。果物や野菜に含まれるアレルゲンは加熱すると分解するために、ジャムや缶詰などでは症状が出にくいとされています。

果物アレルギーを発症した患者様は、同じグループの果物や搾ったフレッシュジュースを多量に摂取しないなどの工夫をしましょう。

果物や野菜を食べて違和感を感じる場合は、すぐに専門医を受診しましょう。



花粉症に合併するOASで花粉との関連が報告されている主な植物

ハンノキ シラカンバ など	スギ ヒノキ	カモガヤ オオアワガエリ	ブタクサ ヨモギ
リンゴ モモ メロン など 	トマト 	メロン スイカ キウイ 	メロン スイカ セロリ ニンジン など

医療法人 腎・糖尿病センター

SKDC

佐々木内科クリニック(西区)

さ さ き さ と し
佐々木 敏作先生

標榜科

一般内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、
消化器内科、眼科、泌尿器科、人工透析科

当院では「病気を診る」のではなく、「その病気をもらった患者さんを診る」という考えのもとに平成16年から診療を続けています。主に糖尿病や腎臓病の患者さんを中心に、その予備軍から末期合併症に至るまで一元的に管理しています。糖尿病専門医3名のみならず、管理栄養士、糖尿病療養指導士も加わったチーム医療を実践しています。各種医療機器も充実しており、また、眼科・泌尿器科・整形外科を併設し、眼合併症、透析治療を含む腎合併症、さらに骨病変などに包括的に対応しています。

〒550-0025
大阪市西区九条南2-2-21 NTT西ビル1F
クリニック／電話:06-6585-2373
腎センター／電話:06-6585-2386
<http://www.sasaki-medical-clinic.info/>

休診日：土曜日午後、日祝日

アクセス：阪神なんば線九条駅下車 ②番出口徒歩1分

地下鉄中央線九条駅下車 徒歩約4分

地下鉄長堀鶴見緑地線ドーム前千代崎駅下車 徒歩約7分

※診療時間・休診日は診療科目によって異なることや変更になっている場合があります。事前に必ず医院に直接ご確認ください。

(内科)		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
午後	5:00~ 7:00	○	○	△	○	○	○	△

※【眼科・泌尿器科・消化器内科(胃カメラ)・整形外科・栄養指導】予約制
※水曜日は午後4:00~6:00



山北整形外科(大正区)

やまきた しん や
山北 真也先生

標榜科

整形外科、リハビリテーション科

電気治療、マッサージなども同様にリハビリとされるかもしれませんが、そうではありません。当院では、関節痛などで運動機能が落ちてきた方や、骨折などの手術の退院後のリハビリをする場を提供し、3名の理学療法士と共に運動器リハビリテーションを行い、健康に一人暮らしできるようにサポート、また隣接する山北内科、皮膚科クリニックと連携を取り、地域医療に貢献したいと考えております。

今後は理学療法士を増員し、通所、訪問リハビリも展開していく予定です。

月に一度は健康教室を行い、患者様の疾患への理解、運動の仕方などを無料で提供しています。

〒551-0012
大阪市大正区平尾4-23-14
電話:06-6556-3533
<http://yamakita-seikei.com/>

休診日：木・土曜日午後、日祝日

アクセス：JR環状線、地下鉄長堀鶴見緑地線大正駅下車

市営バス「鶴町4丁目」または「西船町」行き

「中央中学校前」バス停下車スグ

※診療時間・休診日は診療科目によって異なることや変更になっている場合があります。事前に必ず医院に直接ご確認ください。

		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	△
午後	4:30~ 7:30	○	○	○	△	○	△	△



開放型病院登録医とは

病院の医師と連携しながら共同で患者様に最良の医療を提供するため、病院に登録していただいている医院、診療所の医師のことです。

日生病院では、420名の先生方に登録していただいています。

(平成28年10月末現在)

『開放型病院』は厚生労働大臣が定める基準を満たし、

知事に届け出をして、承認を受けています。

登録医と病院の医師が共同で診察・治療し、

継続的なより質の高い医療を提供することを目的としています。





あったかサポートセンターからのお知らせ

●ニッセイいい皮膚の日

毎年好評の、「いい皮膚の日」を以下の通り開催いたします。皮膚に関する、予防や治療に役立つ情報満載のフェアです。みなさま是非お立ち寄りください。

日時：平成28年**11月11日(金)**
13:30~15:15

会場：日生病院 1F・2F外来ホール

- プログラム**
- 職員有志によるミニコンサート
 - 医師による講演会
「かゆい皮膚病の診断と治療」
 - 看護師による講演会
「スキンケアについて」

医療相談、看護相談、パンフレット等の配布

医療相談や
看護相談も
あります

●ニッセイ糖尿病フェア

～糖尿病と体脂肪の気になる関係～

毎年好評の、「ニッセイ糖尿病フェア」を以下の通り開催いたします。糖尿病を身近に感じ、予防に役立つ情報満載のフェアです。みなさま是非お立ち寄りください。

日時：平成28年**11月18日(金)**
11:30~13:30

会場：日生病院 1F外来ホール

テーマ：知ろう、測ろう、相談しよう！糖尿病にならないために

- ブース内容**
- 血糖値を測ってみよう！
 - 筋肉量&握力を測ってみよう！
 - どんなお薬飲んでますか？
 - 食欲の秋、食べ過ぎてませんか？(栄養相談)
 - 頸動脈エコー体験！動脈硬化を調べませんか？
 - 何でも医師に相談してみよう！

糖尿病をテーマに
各ブースを
出展いたします。

●平成28年度 第2回 ニッセイ市民健康セミナー

当院では、患者様やご家族様、広く地域の方々を対象に、「健康セミナー」を開催しています。今回は、神経内科部長が『脳卒中の診断と治療』について、耳鼻咽喉・頭頸部外科の主任部長が『もしも“めまい”が起こったら』と題して講演を行います。日常生活でも聞いたことのある病気ですので、ぜひご参加いただき、みなさまの医療情報にお役立てください。

日時：平成28年**11月26日(土)**
14:00~15:30

会場：日生病院 別館講堂

参加：参加費無料 予約不要

司会：日生病院 副院長 藤田征巳

プログラム

- 1.『脳卒中の診断と治療』
神経内科部長 浅野 彰彦
- 2.『もしも“めまい”が起こったら』
耳鼻咽喉・頭頸部外科 主任部長 藤田 信哉



お問合せは 地域医療総合窓口 あったかサポートセンター ☎06-6543-3581(代)へご連絡ください。

外来診療・受付時間

(再診の方は、必ず再来受付機に診察券を投入してください)

平日(月曜日～金曜日)

受付時間		午前	午後
	初診	8:30~11:30	13:00~15:30
診療時間	再診	7:30~11:30	12:00~15:30
		8:45~	13:30~

※初診の場合は、紹介状をお持ちください。紹介状がない場合は、保険外併用療養費(選定療養費)2,700円がかかります。

※診療科によっては、完全予約制や休診の日もあります。詳しくは各診療科におたずねください。

休診日 土曜日、日・祝日、年末年始



当院では病院敷地内全面禁煙となっています。ご来院の皆様には、ご理解とご協力の程よろしく願っています。

交通アクセス

- 地下鉄：中央線・千日前線「阿波座駅」下車西側「6号出口」「5号出口」徒歩約3分
- 自動車：阪神高速道路では、「信濃橋」「汐見橋」「西長堀」「阿波座」「中之島西」出入口が便利です。



公益財団法人 日本生命済生会付属

日生病院

(公財)日本医療機能評価機構認定病院

〒550-0012 大阪市西区立売堀6丁目3番8号

TEL 06-6543-3581(代) FAX 06-6532-6482 <http://www.nissay-hp.or.jp>



公益財団法人 日本生命済生会

総合健診クリニック
ニッセイ予防医学センター

(社)日本病院会 人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価 認定施設

◆人間ドック ◆各種健診 ※月～土曜日(完全予約制)

TEL 06-6532-6437(代) FAX 06-6532-6402 <http://www.nissay-yobouigaku.jp>